

図書コーナーご案内



図書コーナーは、男女共同参画社会実現のために、情報の力でエンパワーメントすることを目的としたジェンダーに関する専門図書室です。

資料の貸し出しのほか、調べ物やさまざまな疑問に対して、参考となる資料の紹介や情報の提供を行っています。どうぞお気軽にご相談ください。

- ◆場所 静岡市女性会館1F
- ◆利用時間 (平日)9:00~19:00
(土日祝)9:00~17:00
- ◆休館日 第2・4月曜日
年末年始(12/28~1/4)
蔵書点検期間ほか
- ◆TEL 054-207-8811(直通)
- ◆貸出点数 図書、雑誌、CD、カセットあわせて10点まで
- ◆貸出期間 2週間
- ◆貸出方法 貸出には図書コーナー専用の貸出カードが必要です。住所・氏名・生年月日が確認できるもの(免許証、健康保険証など)をお持ちくださいればその場で発行します。

図書コーナーHP 

女性のための総合相談

ひとりで悩まないで、まずはお電話を

結婚・離婚、恋愛、夫婦のこと、親との関係、子どもとの関係DV、暴力・虐待、セクハラ、職場の人間関係、経済的困窮妊娠・出産、子育て、これから生き方など…

受付時間	火	水	木	金	土
9:00~13:00	○	○	/	○	10:00~13:00
14:00~17:00	○	○	14:00~20:00	○	/

電話相談の事前予約は不要です。まずはお電話ください。

女性会館 相談専用ダイヤル  054-248-1234

女性相談員による面接相談 (予約制/1回 50分)	電話相談のあと、ご希望や必要に応じてご利用いただけます
女性弁護士による法律相談 (予約制/1回 30分)	第1土曜日・第3木曜日 14:00~17:00

弁護士への相談がスムーズにできるよう、電話相談で受け付けています。

40代以下の女性のための 就職・転職・キャリア相談

予約制 面接 事前申込

まずはお電話またはHPにてご予約ください。
事前に相談シートをお送りします。

申込受付日時	同月の1日(1月のみ5日)12:30より 1日が休館日の場合は翌開館日
面談日	毎月第3水・金・土曜日 ①10:30~11:20 ②13:30~14:20(1回50分)

女性会館事務室  054-248-7330

アイセル21 にじいろ電話相談

セクシュアリティや性別違和で悩んでいる方、
または周囲の方からのお話を伺います。

にじいろ
054-248-2216
毎月第2土曜日 14:00~17:00

静岡市女性会館(アイセル21)

所在地 静岡市葵区東草深町3-18
開館時間 9:00~21:30
休館日 第2・4月曜日、年末年始(12/28~1/4)
TEL 054-248-7330
FAX 054-246-7833
E-mail mail@aicel21.jp
HP <https://aicel21.jp>



静岡市女性会館 情報誌 WAVE vol.99号
発行年月: 2023年11月
編集・発行: 静岡市女性会館
指定管理者 NPO法人男女共同参画フォーラムしづおか



静岡市女性会館は講座、情報、相談などの事業を通してSDGsのゴール5「ジェンダー平等の実現」を目指しています。「ここから、はじまる ここで、つながる」を合言葉に、女性会館という「場」を最大限に生かし、平常時も災害時も地域のネットワークの拠点として会館運営に取り組みます。



推し活のために考えるジェンダー
誰もが「推し」を持つようになった時代に
田中東子さん

WAVE SPECIAL INTERVIEW
どの世代の人にも、性の知識を伝えたい

ジェンダー川柳は明るい未来を切り開く

講座終了レポート AICEL TOPICS 講座のご案内



推し活のために考えるジェンダー 誰もが「推し」を持つようになった時代に

講師・田中東子さん



アイドルやアーティストを自分なりのやり方で応援する「推し活」。今やすっかりメジャーな言葉となり、「推し」を持つ人は少なくありません。一方で長時間の没頭やメディア空間に潜むジェンダー意識に不安の声も聞かれます。

静岡市女性会館は男女共同参画週間(6月23~29日)にちなんだ講演会を7月8日に開催しました。「推し活のために考えるジェンダー」をテーマに、ご自身も推し活をされ、男性アイドルと推し活についてエッセイや論文を書かれている東京大学大学院教授の田中東子さんを講師にお迎えし、「推し活」をめぐるメディア事情やジェンダー意識について考えました。

推し活の光と闇

田中東子さんはメディア文化論やジェンダー研究を専門とし、デジタルメディア空間における性差別や人種差別などの社会問題のほか、「推し活」の今日的な課題についても研究しています。「推し活は年齢や地域、職業などを超えて人間関係を築くことができ、日常生活にはない彩りや生きがいをもたらす半面、過度の課金や対象となる人物の身体・パーソナリティの商品化と消費主義、外見の善し悪しで判断するルッキズム(*1)など現代社会特有の問題につながることもあります」と光と闇の両面を紹介しました。



「オタク」から「推す」へ

前半は自身の楽しい「推し活歴」を披露しながら、ファン文化の変化を時代に沿って解説しました。

「ファン文化は日本社会の伝統文化。ただ、1970年代～80年代は一部のファンの活動がオタクと呼ばれるなど、社会的に低く見られており、かつ男性の活動と思われる傾向がありました。90年代～2000年代はオーディション番組やコンテストが盛んに行われましたが、それは主に男性が若い女の子を審査し見出すための装置でした」

やがて、多人数のアイドルグループが登場し、その中の一人を目立たせるためにファン同士「推し(押し)上げる」という意味合いなどから、「推し」という表現が多用されるようになったと田中さん。同時に女性ファンの存在が表舞台に出てきます。

「2010年代からは韓国の男性オーディション番組をきっかけに東アジア圏に人気が拡大しています。インターネットやSNSの普及でジャニーズ系アイドル一択から、テレビ以外のメディアを通じて筋肉系、K-POP、ダンス・ボーカルユニットなどへ

“拡張”したことでの女性のファンが急増したこともあります」



*1 ルッキズム 外見で価値判断すること。外見重視主義などと訳される。外見に基づく差別や蔑視を指す場合もある。

*2 2.5次元の表現 アニメやマンガ、ゲームなど仮想の世界を、舞台やコンサートといった現実的な世界に再構築したもの。

デジタル技術とアテンションエコノミー

後半はテクノロジーの進化に伴って今起きている現象に触れました。

「2次元のキャラクターアイドルの発生、3次元的なアイドル要素のアニメやゲームへの取り込み、2.5次元の表現(*2)へと“拡張”し、推す対象も膨大になっています。また、双方コミュニケーションが容易になり、SNSを利用した積極的な情報発信など参加型ファン文化も展開されてい

ます」

しかし、このように拡張するアイドル文化や推し活は、現代的なアテンションエコノミー(情報経済)の中に配置されていることに留意するよう田中さんは訴えます。 「物質的資源や労働力が価値を持ついた従来の経済に対して、注意を引く情報を資源とするのがアテンションエコノミー。アイドルの配信に長く接触するほど、

個人の情報は抜き取られ、消費につながるよう企業やメディアは競い合います。私たちが自発的にやっていると思っていても、その関心や掛けた時間が搾取されてしまう訳です。アイドルにあっても労働時間外の配信や投稿、自己開示は大きな負担になっています」

複雑化するジェンダー観

田中さんは、従来のファン文化は「見る」のは男性、「見られる」のは女性という非対称なジェンダー関係だったのに対して、現代的な「推し活」では男女とも「見る」「見せる」「見られる」のどちらでもある存在へ複雑化していると指摘します。

また、「推し活」の楽しさの一方で、容姿に対してブス、不細工といった攻撃が男性にも降り注ぐ現状があり、ルッキズムの

傾向やアイドルの商品化という切実な課題に触れました。

「自己の身体やイメージ、パーソナリティまでも商品化されている側面があります。誰かを応援する時、応援と同時に推しの配信を見る、グッズを買う、イベントに通うなど消費している。一方でその消費は忠誠心の証しである。相反する意味をどうとらえるか、語る言葉を探しています」

未成年が課金や長時間のめり込むリスクをどう防ぐかという参加者からの質問に「未成年を保護するためのルール作りが必要だと考えています。自分の人生に責任を持てる年齢までは、バランス良く推し活を取り入れる方法を考えていきましょう」と締めくくりました。

プロフィール

1972年横浜市生まれ。早稲田大学大学院政治学研究科後期博士課程単位取得退学後、早稲田大学教育学部助手および助教、十文字学園女子大学准教授、大妻女子大学文学部教授を経て、現職。専門分野はメディア文化論、ジェンダー研究、カルチュラル・スタディーズ。第三波以降のフェミニズムやポピュラー・フェミニズムの観点から、メディア文化における女性たちの実践について調査と研究を進めている。

田中東子さん

東京大学大学院情報学環教授



どの世代の人にも、性の知識を伝えたい

静岡市女性会館では、女子高校生を対象にしたライフキャリアデザインの連続出前講座を実施しています。今年度は助産師の下村美佳さんに「セクシュアル・リプロダクティブ・ヘルス＆ライツ」の講義を受け持っていました。10代の女の子たちに講義をする際は「女の子たちが産婦人科を受診するハードルを下げる」と目標にしていると語る下村さん。助産師を志したきっかけや、性教育の活動についてお話を聞きました。



助産師 下村美佳さん

静岡市で生まれ育つ。大学卒業後、静岡県内の大学病院に助産師として就職。現在は、2人の子どもを育てながら、静岡市内の産婦人科医院で助産師として働く。また、出張専門の助産院でも、産後ケアを中心に母親たちをサポートしている。母親が、お産を語れる場「お産ラボ」のスタッフとしても活動する傍ら、2020年から親子向けの性教育や月経教室の講師を務める。

助産師を志したきっかけを教えてください。

私自身が双子で、未熟児として生まれました。切迫早産で、入院期間から出産後まで助産師さんに助けられたと母から聞いています。看護師を目指して大学に入学し、実習の中で出産に立ち会う機会がありました。病院では「おめでとう」と言える機会が少ないので、出産の現場は心の底から「おめでとう」と言えたことが印象に残っています。出産の時は苦しい表情の女性が、出産後はお母さんの顔になる。その変化に立ち会えることが“何だか良いな”と感じ、助産師を選択しました。

現在、出張助産院も開業されていますが、出張の産後ケアはどのような経緯で始められたのですか。

自分のお産が一番のきっかけです。助産師の資格も経験もあるため、自分が出産をする際は大丈夫だろうと思っていたが、産後の大変さは想像以上でした。仕事なら代わってくれる人がいますが、自分の子どもに対しては、休むことができません。責任がまったく違います。

病院で出産をすると、次にお母さんと赤ちゃんが病院へ来るのは1か月健診、その次は4か月健診でした（現在は2週間健診がある）。間が空くので、病院だけではフォローができません。新生児訪問、産後ケアに自分から出向ければ、退院してすぐの一番不安な時期のお母さんに寄り添うことができる。そういうサポートの仕方をしていきたいと思いました。

助産師の仕事の傍ら、性教育の講師をされています。性教育の活動を始めたきっかけと、活動内容について教えてください。

私は2人目の子どもを助産院で出産しました。その際、当時3歳だった上の子どもが出生に立ち会っていて、「ママのおしりから赤ちゃん生まってきた」と言つたんです。正確にはおしりからではありませんが、正しい知識を伝える言葉・方法を持っていないと気付きました。それまで私自身は、性教育に対してタブーと感じて苦手意識っていましたが、自分の子どもに正しい性の知識を伝えるために、いろいろな性教育の本や絵本を調べ始めました。

勉強していく中で、助産院から声を掛けてもらい、親子向けの性教育教室で教えるようになりました。親子で一緒に聞いてもらうことで、まずは親が子どもの一番の相談相手になってほしいという思いがあります。親子が対象の月経教室も行っています。月経教室では、実際に月経カップに触れたり、ナプキンの吸水実験などの体験をもらっています。

性教育の活動で今後の展望を教えてください。

10代の女の子へ向けては、自分の体、性について、知識を持つことで、自分を守ることができると知ってほしいです。予期せぬ妊娠を防ぐこともできますし、自分の体のことは自分の意思で決定してほしいです。自分の体については、自分で選ぶ権利があるのに、知識がないと選択できない。選択し行動できれば、自分を守ることができます。

現在の性教育は、関心のある限られた人には伝えられますが、すべての人には届いていません。性教育に関心を持っていない人たちにも伝えられるようになればと思っています。性教育はどの世代の方にも必要な知識だと思いますので、すべての人が性の知識をアップデートしている状態が理想ですね。

ジェンダー川柳は明るい未来を切り開く

毎年恒例のジェンダー川柳募集に、今年度は全国から423人1,087句のご応募をいただきました。またU-18部門では学校単位での応募も含め381人、679句のご応募がありました。今年も選考委員長に僧侶で落語家の露の団姫(つゆのまるこ)さんを迎えて、最優秀賞と優秀賞を決定しました。

露の団姫さん総評

ご応募いただいた句の多くがLGBTQや家制度、夫婦関係に関するものでしたが、これらの句から、性との向き合い方は自分自身に留まらず、「人と人」、そして「社会の中にある」ということが見えてきました。ジェンダー平等は、他人事ではなく、すべての人に関わる社会全体の課題なのです。

近年、SNSではジェンダー平等の啓発を目的とする投稿が増えましたが、厳しい言葉による啓発は対立や分裂を生むことも少なくありません。啓発をするうえで大切なのは、相手を糾弾することではなく、考え方をアップデートしてもらうことです。

その点、ジェンダー川柳は、川柳ならではの「笑い」、「おかしみ」によって、ジェンダーの問題を堅苦しくなく発信できるため、有効な啓発の仕方だと期待しています。

これまでのジェンダー川柳では、世間での出来事や他者に対する視点が中心でしたが、今後は、自分の心の中にもあったジェンダーバイアスを一句にできることで、より多くの人がジェンダー平等へと導く句になるかもしれません。

部門	賞	内容
U-18の部	最優秀賞	若い世代の方々が日本社会に抱く疑問を強く感じる一句でした。
一般の部	最優秀賞	幅広い世代に親しまれる「奈良漬」という食べ物をきっかけに読み手の心を引き付ける良い作品でした。
U-18の部	男だけ？	いつまでも日本のトップ
一般の部	期限切れ	「女なら」その「ならづけ」は期限切れ（お餅）

講座終了レポート

2023
4/23

なりゆき任せにしない!
新時代の老い支度

長寿化の進む今、新たな時代の変化に応じた女性に必要な老い支度の備えや心得を、臨床社会学者の春日キヨさんから学びました。定員を超える100人以上の方々から申込みがあり、テーマに対する関心の高さがうかがえました。

感想 「自分の将来はなりゆき任せと考えていたが、意識を変えて今から備えたい」「今の高齢者を取り巻く環境が変化することがわかった。依存先を多く持つことも大切であると学んだ」

2023
8/26

すきをみつける
アートワークショップ

小学生と保護者を対象にカード遊びや絵本作りを通して、ジェンダーを知るワークショップを開催しました。作家の大城舞未加さんからお話を聞きジェンダーにとらわれず自分の「好き」を見つめることを学んだ後、参加者は思い思いに絵本を作り上げていきました。

感想 「いろいろこうさくをしたり、ものをえらんだり、好きなものをみつけたりしてたのしかった」「楽しくジェンダーについて学ぶことができてよかったです」「人と違ってOK!!の絵本がとてもよかったです」

2023
8/27

おはなしクイーンと
親子で楽しむ絵本の扉

3~8歳の子どもと保護者を対象としたおはなしクイーン（ドラッグクイーン）による絵本の読み聞かせ＆工作の会を開催。キラキラのドレスで「自分らしさ」全開のおはなしクイーンと出会い、絵本や工作などを通じて、自分らしくあることの大切さを親子で体験しました。

感想 「子どもたちも楽しそうで、クイーンもやさしく、自分を大切にすることを伝えいただき参加してよかったです」「人と違ってOK!!の絵本がとてもよかったです」

ジェンダー川柳
2023
今年も沢山のご応募をいただき
有難うございました

露の団姫さん

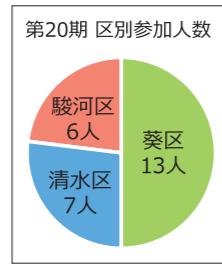
2023
8/27

AICEL TOPICS

第20期アイセル女性カレッジ
私の声を地域に活かす
地域防災に男女双方の視点を!
Jo-Shizu防災講座



第20期アイセル女性カレッジが7月からスタートしました。今年は、Jo-Shizu防災講座「私の声を地域に活かす 地域防災に男女双方の視点を！」と題し、2024年の1月まで全7回の連続講座となります。「防災委員になったので勉強したい」「地域防災について学ぶとともに、人とのつながりについて考えたい」「防災について学び、高齢者の見守り活動に活かしたい」など、それぞれの思いで参加しています。今年の受講生の特徴は、民生委員、助産師、防災委員と地域を支える立場で活躍している人が多いこと。また、清水区からの参加者が増えたことです。「なぜ防災に女性の視点が必要なのか」「災害に強い地域づくり」について学びます。



ガールズ電話相談を実施しました (8/22～31)

夏が終わる前、学生だったら新学期前に学校に行きたくない気持ちが高まる時期に合わせて、10代、20代の女の子、女性を対象としたガールズ電話相談を実施しました。

ガールズ電話相談では、家庭や職場、学校での人間関係や、勉強、仕事、自分の生き方や在り方、セクシュアリティにまつわることなど、どのような悩み、不安でも、相談員が電話をかけてきてくださった方のそのままの気持ちを受け止め、一緒に考えます。



今回は、1か月前から「夏の終わりが不安なあなたへ」と題し、SNSで告知をし、「親や友だちには話せない」「誰にもわからぬかもしれないかも知れない。でも誰かに話したい」そんな思いを抱えたガールズ世代からの相談を受けました。今後も長期休暇の前後や年度の変わり目などにガールズ電話相談を実施していく予定です。あなたやあなたの周囲の方のご利用をお待ちしています。

静岡女子高等学校2年総合的探究の時間 「女子高校生のためのライフ・キャリアデザイン」



4月から9月まで、静岡女子高等学校の総合的探究授業の一環として「女子高校生のためのライフ・キャリアデザイン」講座を実施しました。全10回のプログラムは、女性の生き方や働き方を考える「社会の中の女性 社会の中の私」、対等な人間関係や自分の身体について考える「デートDV」「リプロダクティブ・ヘルス/ライツ」などの構成。最終回ではこれまでの講座を振り返り、将来の自分のために今できることを考え発表してもらいました。発表を終えた生徒からは「緊張したけれど、将来自分のなりたい姿をみんなに伝えられてよかったです」「みんなの将来なりたい姿もすごく素敵だと思いました」「自分のことをしっかり考えることができて、将来についてもっと深く分かりました」などの感想が寄せられました。

図書コーナー より利用しやすく選びやすくなりました 直通電話もできました

図書コーナーでは、雑誌と絵本の書架を見直し、キッズスペースと併せてリニューアルしました。



雑誌のバックナンバーは展示台に並べるほか、最新号の置いてある棚の中に入れ、探しやすくなりました。また、絵本はタイトルの五十音順に並べ、表紙を見せた展示を増やしています。幼いお子さんへの読み聞かせに適した、小さく角の丸い絵本はキッズスペースの近くに置いてありますので、靴を脱いでゆったり読み聞かせしていただくこともできます。

その他、多様な本と出合っていただけるよう、展示台を追加しました。書架の間を巡りながら「大切な一冊」を探してみてはいかがでしょう。

さらに、これまで図書コーナーへのご連絡は女性会館の代表電話から転送していましたが、直通電話になりました。図書コーナーへのお問合せや貸出期間の延長時のご連絡にご利用ください。

TEL 054-207-8811(図書直通)



講座のご案内

申込先・問合先 静岡市女性会館 〒420-0865 静岡市葵区東草深町3-18

TEL 054-248-7330
HP <https://aicel21.jp>

SDGs&ジェンダーと、 しあわせコーヒーのゆくえ

コーヒータイムは、ほっと一息つけるいやすい時間。毎日飲むものだからこそ学びを深めてみませんか。コーヒーには、SDGsの話がぎゅっと詰まっています。コーヒーを作る人と飲む人、みんなと一緒にしあわせになるにはどうしたらいいのか考えます。

※ステイナブルコーヒー1杯つき

日 時 12月3日(日)13:00～15:15
対 象 どなたでも 30人
会 場 研修室
講 師 山下加夏さん
(ステイナビリティ・アドバイザー)
参加費 300円
託 児 要申込(1歳～未就学児)
子ども1人につき500円
申込み 11月1日(水)10:00から
電話またはHPで(申込順)

発達障がいの夫と カサンドラな妻

「ぱっと見は“いい夫”、“真面目な夫”と言われる」「共感やいたわりを感じられない」「もしかしたら…夫は発達障がいかも？」夫の言動に悩んでいるのは、あなただけではありません。発達障がいの特性のある夫への対応方法や自分らしい幸せを考えていきます。

日 時 12月9日(土)13:00～15:00
対 象 女性 30人
会 場 研修室
講 師 真行結子さん(カサンドラ支援
団体「フルリール」代表)
参加費 無料
託 児 要申込(1歳～未就学児)
子ども1人につき500円
申込み 11月6日(月)10:00から
電話またはHPで(申込順)

今からでも遅くない! わたしのための更年期ケア

更年期を正しく知り、我慢せず少しでも快適に過ごしていけるよう心身を整えていくヒントやアイデアを学びます。今日からできる簡単なストレッチ、体ケアに必要な知識を身につけます。健康で元気に人生を楽しむため自身の心と体に向かうきっかけをつくる講座です。

日 時 2024年1月13日(土)
13:00～15:00
対 象 40～50代女性 20人
会 場 研修室
講 師 田村佳代さん
(「ちえぶら」事務局長)
参加費 無料
申込み 12月4日(月)10:00から
HPで(申込順)

赤ちゃんと一緒に 産後ヨガ

ママと赤ちゃんが一緒に参加する講座です。なかなか自分の時間が取れないママたちのカラダやココロを整えていきます。赤ちゃんとスキンシップを取りながら、親子で楽しく穏やかな時間を過ごしましょう。ヨガの後は、参加者同士交流する時間もあります。

日 時 2024年1月26日(金)9:45～11:15
対 象 生後6か月までの子とその母親 12組
会 場 フィットネスルーム
講 師 齋藤美由記さん
参加費 無料
申込み 12月1日(金)10:00から1月11日(木)
17:00までHPで(多数抽選)



いつか働きたい! 今からできる準備

結婚・出産・育児などで、働き方が多様化している今、女性が仕事を再開する際に気になるのが「扶養の壁」。最新の情報や今後の動向を分かりやすく解説すると共に、働くために今からできる準備や仕事探しのポイント、さらにハローワークの活用法を学び、あなたの「いつか」に備えます。

日 時 2024年1月30日(火)
9:30～11:45
対 象 20～30代女性 15人
会 場 研修室
講 師 岡村英昭さん(社会保険労務士)、
ハローワーク静岡マザーズコーナー職員
参加費 無料
託 児 要申込(6か月～未就園児)
子ども1人につき500円
申込み 12月7日(木)10:00から
電話またはHPで(申込順)

ジェンダー関連 卒論・探究学習発表会

高校生、大学生による探究学習・卒業論文の発表会を開催します。ジェンダーに関連したテーマで、性別にとらわれない生き方・働き方、教育、多様性への配慮など、学生がじっくり掘り下げた成果を聞きにきませんか。※発表者の募集は別途行います。

日 時 2024年2月10日(土)
13:00～16:00
対 象 どなたでも 20人
会 場 研修室
参加費 無料
申込み 2024年1月9日(火)10:00から
電話またはHPで(申込順)



会場は、記載がない限り、女性会館(アイセル21)になります。